

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		文化の振興		款	3	項	1	目	2	事業	1	整理番号	66		
担当部課名		区民生活部文化・交流・男女共同参画課		係名	文化振興担当係		連絡先電話番号		3254		昨年度整理番号	65			
上位施策No・施策名										65	文化・芸術活動の推進		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	4	政策番号	4	施策番号	1	事業コード	1	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) 杉並区と日本フィルハーモニー交響楽団との相互協力に関する覚書 (2) 杉並区後援名義等の使用承認事務取扱要綱						
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○地域の中で、区民が優れた文化・芸術に触れる機会が増えるとともに、区民の主体的・創造的な文化・芸術活動が活発になります。							活動指標名(式) (1) 日本フィルとの友好提携事業の実施回数 (2) 後援・共催名義使用承認事業実施件数						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○日本フィルハーモニー交響楽団友好提携事業、区民ギャラリーの活用(企画展や区民貸し出し)等を中心とした文化・芸術事業を実施する。 ○区民や団体が行う文化・芸術活動の後援・共催等を行う。							成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 日本フィルとの友好提携事業の参加者数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 後援・共催により実施した事業の参加者数 算定式・指標の説明等						
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)					
指標	活動指標(1)	①	回	38	37	36	35	35	40	87.5	100.0				
	活動指標(2)	②	件	72	75	60	75	62	80	77.5	82.7				
	成果指標(1)	③	人	13,480	13,000	11,175	14,000	9,308	15,000	62.1	66.5				
	成果指標(2)	④	人	81,535	85,000	96,850	100,000	72,243	105,000	68.8	72.2				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	42,443	25,449	23,808	25,640	23,359	65,460	21年度予算執行率% 91.1					
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	33,600	特記事項 参加者数の減については、新型コロナウイルスの影響が考えられます。					
	(内)委託費	⑦	千円	0	2,029	1,742	1,420	1,076	8,448						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.79 0.00	2.50 0.00	2.82 0.00	2.50 0.00	2.96 0.00	2.50 0.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	25,501	22,625	25,521	22,198	26,282			22,198			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			0			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	67,944	48,074	49,329	47,838	49,641	87,658						
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	1,788,000	1,299,297	1,370,250	1,366,800	1,418,314	1,351,450						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0			
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0			
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0						
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0						
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	67,944	48,074	49,329	47,838	49,641	87,658						
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 66

21年度 の事業 実施 状況	内 容	規模	単位	事業費(千円)	
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	日本フィルとの友好提携事業(細)	35	件	1,098	
	区民ギャラリーの活用(細)	26	件	1,115	
	杉並公会堂利用料(細)	23	件	12,753	
	その他(後援名義使用62件等)				8,393
(2)事業実績	「文化・芸術振興に関する懇談会」を11月、1月、3月に計3回開催しました。日本フィル友好提携事業では、杉並公会堂でシーズンコンサート4回、公開リハーサル4回、区役所でロビーコンサート2回、学校へ出張音楽教室や、区施設へ出張コンサート合わせて25回実施しました。区民ギャラリーでは、5月に高円寺ファッション展、11月から12月に女子美術大学第1回作品展、12月に日本フィル写真展を実施しました。				
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化 第37回区民意向調査(H17) 地域文化の振興施策 評価できる=9.2% 要望が高い=7.2% 第42回区民意向調査(H22) 地域文化の振興施策 評価できる=10.2% 要望が高い=7.4% 事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など) 日本フィル友好提携事業の、児童館など区施設や区民公募施設でのコンサートにつきまして、参加者、施設担当者から身近な場所で質の高い音楽を聴くことができたことと良好な感想をいただいています。区民ギャラリーの企画展では、美術展のみならず、高円寺ファッション展など幅広いジャンルの展示に評価をいただきました。 今後の予測 国の事業仕分け等による財政の見直し、規模の圧縮等がありますが、文化については、劇場法制定など、新たな支援に向けての動きもあります。自治体の文化・芸術に対する役割は事業実施から一層支援に移行し、その支援も特徴的、効果的なものが求められることとなります。				
事業のあり 方点検	左の理由または具体的内容				
(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	杉並公会堂でのクラシック演奏を中心とした事業の実施や、日本フィルが学校等で行う出張コンサートは、区民等が身近で質の高い文化・芸術を体感できる機会を広げています。区民ギャラリーも気軽に区民が発表できる場として機能しています。				
(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	日本フィル友好提携事業では、鑑賞事業に区民参加事業を加え事業の充実を図ります。区民ギャラリーでは、女子美との連携、新人アーティストの発掘のほか新たな方法による区民貸出を行うなど、より気軽に身近な場所にします。				
(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	日本フィルの学校等で行う出張コンサートなどの実施効果を考えると、受益者負担を求めるよりも、無料で気軽に文化に触れ合う機会を設けることが肝要です。区民ギャラリー利用料も検討はしましたが、設備の内容・性質からも無料が適当と考えます。				
(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	日本フィル友好提携事業や区民ギャラリーの運営など、区が実施している文化事業は無償または最小限のコストで実施しているため、削減は困難です。				
協働等点 検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[事業協力]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	「文化・芸術振興に関する懇談会」での意見等を踏まえ、今後の文化施策に反映させていきます。日本フィル友好提携事業では、音楽ワークショップやファミリーオーケストラなど区民参加・体験型事業への支援を行っていきます。区民ギャラリーでは、様々な分野の企画展を5回開催したことから、幅広い年代の区民等から好評を得ました。今後は、女子美術大学との連携や新人アーティストの発掘など更に充実を図ります。永福町駅周辺の整備に合わせ、永福在住の彫刻家佐藤忠良氏制作の彫像を設置します。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	コスト:		
(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 日本フィル友好提携事業では、21年度から始めた公募施設出張コンサートが好評であった。また、区民参加・体験型の事業である音楽ワークショップやファミリーオーケストラを後援するなど事業展開を広げていきました。区民ギャラリーでは22年度使用方法改善についての基本方針を検討した。 (2)改革案の概要(いつまでに、どういうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 日本フィル友好提携事業では、エデュケーションプログラムについて、区内小中学校でのワークショップにかかわり、3月開催のエデュケーションフェスティバルを協働で行うこと通じて、体験型・創造型ワークショップの今後の発展性を検証する。区民ギャラリーでは、新人アーティストの発掘など質の高い展示を実施する。 (3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	● 増 ○ 現状維持 ○ 減	○ 増 ● 現状維持 ○ 減		
	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増 ○ 増 ● 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし		
	(2)理由	日本フィル友好提携事業、区民ギャラリー事業の双方とも、できる限り予算増を伴わない形で支援を行っていく。		

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		杉並区文化協会助成		款	3	項	1	目	2	事業	2	整理番号	67		
担当部課名		区民生活部文化・交流・男女共同参画課		係名	文化振興担当係		連絡先電話番号		4103		昨年度整理番号	66			
上位施策No・施策名										65	文化・芸術活動の推進		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	4	政策番号	4	施策番号	1	事業コード	1	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) 杉並区文化協会補助金交付要綱 (2)						
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○区民の文化・芸術に触れる機会が増え、区民の文化・芸術活動が活発に行われることを実現するために、協会が推進役となって機能します。							活動指標名(式) (1) 文化芸術鑑賞・育成振興事業入場者数 (2) 助成金交付決定件数						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○杉並区文化協会に対し、文化事業が円滑に行えるように補助金を交付する。この補助金をもとに、協会は文化・芸術に関する鑑賞事業、文化・芸術活動の育成・支援事業を行う。 ○協会の会員制度を運営し、広報・情報提供を行うほか、個人や団体に文化芸術活動助成基金助成事業を行う。							成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 協会会員数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 助成金交付決定件数対前年度比 算定式・指標の説明等						
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)					
指標	活動指標(1)	①	人	174,295	—	144,336	—	172,994	185,000	93.5	#VALUE!				
	活動指標(2)	②	事業	32	35	21	35	34	35	97.1	97.1				
	成果指標(1)	③	人	1,654	1,700	1,807	1,900	1,710	2,000	85.5	90.0				
	成果指標(2)	④	%	160.0	109.4	65.6	166.7	161.9	100.0	161.9	97.1				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	64,910	91,346	69,220	86,617	68,881	67,344	21年度予算執行率% 79.5					
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0	・チケット売上等の事業収入を見込んで事業を運営するため、事業運営に支障が無いように補助金には一定程度余裕がある。事業結果により収入が上がった場合は補助金からの事業充当分が減り執行率は下がることになる。					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	4.44 0.00	4.00 0.00	4.26 0.00	4.00 0.00	4.28 0.00	4.00 0.00	・活動指標の「協会会員数」を「文化芸術鑑賞・育成振興事業入場者数」に変更しました。協会事業を直営型から区民の文化芸術活動への支援に活動の重点をシフトしていくことから、後援事業の入場者数を加えた合計数を指標とたためです。					
	人件費	⑨	千円	40,582	36,200	38,553	35,516	38,002	35,516	・成果指標を「協会会員数対前年度比」から「協会会員数」に変更しました。会員数の増加が安定したチケット収入増やロコミからのPRも重要なためです。					
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	105,492	127,546	107,773	122,133	106,883	102,860						
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	605		747		618	556						
	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0						
	国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0						
都からの補助金等	⑮	千円		0	0	0	0	0							
その他の補助金等	⑯	千円		0	0	0	0	0							
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(⑪-⑰)	⑱	千円	105,492	127,546	107,773	122,133	106,883	102,860							
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 67

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	文化協会助成				68,881
	その他 ()				0
(2)事業実績	コンサートなど文化・芸術に関する鑑賞事業を9事業実施しました。文化・芸術活動の育成・支援事業では、文化交流事業として3事業実施し、文化・芸術活動の支援事業として杉並演劇祭を支援するほか、83事業について後援しました。広報では、ホームページのリニューアルを行いました。すぎなみ文化芸術活動助成基金助成事業では、34の個人・団体への助成を決定しました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	第37回区民意向調査(H17) 地域文化の振興施策 評価できる=9.2% 要望が高い=7.2% 第42回区民意向調査(H22) 地域文化の振興施策 評価できる=10.2% 要望が高い=7.4%			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	情報紙コミュかるについては、イベント等に行ってみたくなる、情報が役にたっているなどの評価があり、日本フィルのコンサートや親子コンサートなどは恒例のイベントとして好評を得ています。美術関係の情報が少ないので載せてほしいとの要望があります。チケットの購入に関しては、支払い方法などシステムの見直しが必要ではないかとご指摘を受けています。			
	今後の予測	区内にある「杉並公会堂」「座・高円寺」の2施設が館の特性を生かし、自主事業や民間興業主等の主催事業が広がりを見せています。文化協会が果たしていかなければならない役割を精査し、区民の文化・芸術活動等の支援を進める必要が増します。			
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容				
	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	協会の組織の特性を生かした柔軟で迅速な事業の遂行により、区民の文化・芸術活動の振興に寄与しています。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	事業の方向性を自主事業の実施から、区民・団体の活動支援に重点を置くよう事業内容について再構築していきます。それに伴い会員制度やチケット販売システムについて新たな制度への移行も含めて検討していきます。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容→)	低廉な価格で優れた文化・芸術を提供できています。入場料金などについては、これまでも随時見直しを進めてきました。協会事業の利用者には高齢者も多い事などから、負担増につながることは慎重に検討していきます。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容→)	NPO団体等との協働化を進めることなどによりコストの削減を進めていきたい。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[補助・助成]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	日フィルなど鑑賞事業や親子コンサートなどの自主事業は評価も高く集客力もあります。また、演劇祭や後援事業、すぎなみ文化芸術活動助成基金で支援事業も定着しています。広報活動として、ホームページのリニューアルを行いました。さらに情報紙コミュかるの内容など情報発信力の充実を図っていく必要があります。杉並区文化・芸術振興に関する懇談会のご意見を参考に、「杉並公会堂」「座・高円寺」との役割を明確にして杉並区の文化・芸術活動を支援していきます。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 現状維持	<input checked="" type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成22年度は自主事業の3事業を廃止し、支援型の事業の充実にも努めました。すぎなみ文化芸術活動助成基金助成事業に特別助成金を、文化・芸術活動への支援と育成を中心とした事業を展開しました。特別助成金の対象団体は審査の結果ありませんでしたが、話題性からPRが行き届き助成決定件数が1回の募集に30件と大幅に増加しました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どういうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	自主事業の減少中、会員制度やチケットシステムの費用対効果を検証し新たな制度への移行も含め検討します。また、すぎなみ文化芸術活動助成基金助成事業の制度を使い勝手が良く事業評価がしやすい制度に確立します。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法								
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	杉並区文化・芸術振興に関する懇談会のご意見を踏まえた、区の文化施策を実現するため文化協会の役割について見直していきますが、事業費の増に反映しないよう精査します。							

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		杉並公会堂(PFI事業)		款	3	項	1	目	4	事業	1	整理番号	75							
担当部課名		区民生活部文化・交流・男女共同参画課		係名	文化振興担当係		連絡先電話番号	3254		昨年度整理番号	74									
上位施策No・施策名										65	文化・芸術活動の推進		予算事業区分	投資事業						
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	18	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業		分野	4	政策番号	4	施策番号	2	事業コード	2	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/>	個人	<input type="checkbox"/>	世帯	<input checked="" type="checkbox"/>	団体	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>	内部管理	根拠法令等 (1) 民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律 (2) 杉並公会堂改築並びに維持管理及び運営事業契約書								
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○区民が良質な文化芸術を鑑賞できる機会を提供するなどとともに、区民自らの文化芸術活動を気軽に行える場としていきます。										活動指標名(式) (1) 自主事業実施回数 (2) ホール・スタジオ等の利用件数								
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○区民の文化・芸術活動を始めとした多様な活動場所の提供と、杉並の文化の発信拠点となる杉並公会堂を民間の資金や活力を活用したPFI手法により運営する。 ○公演など自主事業を行うほか、区民が気軽に利用できるように、ホールやスタジオ等の貸し出し事業を行う。										成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 自主事業参加人数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 杉並公会堂ホール・スタジオ等の稼働率 算定式・指標の説明等								
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%								
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)										
指標	活動指標(1)	①	回	18	17	17	25	21	25	84.0	84.0									
	活動指標(2)	②	件	23,549	24,000	24,327	24,000	23,730	25,000	94.9	98.9									
	成果指標(1)	③	人	11,591	10,000	10,314	11,000	9,952	12,000	82.9	90.5									
	成果指標(2)	④	%	83.5	80.0	84.8	85.0	84.1	85.0	98.9	98.9									
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	894,187	898,862	898,259	912,862	912,283	923,862	21年度予算執行率%		99.9								
	(内)投資的経費等	⑥	千円	894,187	898,862	898,259	912,862	912,283	923,862	特記事項										
	(内)委託費	⑦	千円	894,187	898,862	898,259	912,862	912,283	923,862	債務負担設定額:29,036,000(千円) 債務負担設定期間:34年										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.50 0.00	0.50 0.00	0.56 0.00	0.50 0.00	0.59 0.00	0.50 0.00											
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	4,570	4,525	5,068	4,440	5,239	4,440										
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0										
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	898,757	903,387	903,327	917,302	917,522	928,302											
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	253,889	266,176	298,118	177,600	249,476	177,600											
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0										
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0										
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0											
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0											
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0											
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	898,757	903,387	903,327	917,302	917,522	928,302											
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0												

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 75

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	施設サービス購入料(細)	2	回		503,378
	維持管理・運営サービス購入料(細)	4	回		408,905
	その他 ()				0
(2)事業実績	PFI事業として杉並公会堂施設利用、維持管理・運営を円滑に行うため、施設サービス購入料を2回、維持管理・運営サービス購入料を4回支払いました。これにより、21年度は21回の自主事業が行われ、稼働率については若干の減となりましたが、高水準を維持しています。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	第37回区民意向調査(H17) 地域文化の振興施策 評価できる=9.2% 要望が高い=7.2% 第42回区民意向調査(H22) 地域文化の振興施策 評価できる=10.2% 要望が高い=7.4%			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	平成21年度利用者アンケートでは、「満足」、「ほぼ満足」の合計の割合がすべての項目の平均で約85%と評価を得ています。ホールの音響など施設設備については、高い評価をいただいています。要望としては、申し込みシステムの改善の声が寄せられています。			
	今後の予測	杉並公会堂は、貸し館として区民に広く使用していただくと共に、専門的な施設設備を活かした質の高い公演を行っています。PFIによる民間のノウハウを更に発揮し、公会堂のブランド力を高める事業の実施と区民が気軽に使用できる貸し館としての施設の性格とのバランスが要求されてきます。			
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容				
	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	杉並区の文化の要として活用されています。特にクラシックを中心とした音楽分野では区内外問わずに利用希望が多く、音の良さでも高い評価を得ています。			
	(2) ①現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(②へ↓) ②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	公会堂のブランド力を高めるような魅力ある公演の実施と、積極的なPRIにより、区民のみならず、区外からもお客様を呼び込み、荻窪の地域活性化にも繋げていくことができます。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容→)	現在利用料金は、廉価な設定となっておりますが、今後の情勢次第では受益者負担増の可能性もあります。			
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	PFI手法による事業のため、債務負担が設定されており、公租公課や金利の見直しによる変動以外はありません。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3) 協働等の形態 民営化	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	音響が良い施設として評価が高く、音楽のみならず落語など多彩な演目により知名度が高まっています。貸し館としての稼働率も高水準を維持しています。経営的にも21年度決算で黒字となり、順調な運営となっています。今後は、広報、宣伝に力を入れ、より多くのお客様にクラシックを中心に良質な公演を提供していく予定です。また、杉並区文化協会との各種事業の役割分担等について、検討をしていきます。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	長期修繕・リニューアル計画について、今後、区営繕課に修繕計画等の助言、指摘等協力を得ることとし、PFI事業者の修繕業務について適切なモニタリングを行うこととした。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	23年度の事業実施体制について、杉並区文化協会事業とのすり合わせを行うなどの検討を進める。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法								
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	公会堂サービス購入料は、施設の施設整備に係る費用と、維持管理・運営に係る費用から本施設の施設利用料など運営収入を差し引いた額をサービス購入料とし、それを事業期間(30年)にわたって平準化したものであるため、公租公課の制度変更や物価変動等を除き原則的に変更はありません。							

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		文化財調査・保護			款	7	項	5	目	1	事業	5	整理番号	537	
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課			係名	文化財係			連絡先電話番号	1667		昨年度整理番号	525		
上位施策No・施策名		65 文化・芸術活動の推進			予算事業区分				既定事業						
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	57	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 文化財保護法 (2) 杉並区文化財保護条例								
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○区内の文化財を保護する。 ○文化財所有者及び区民が文化財を理解し、これを保存・活用できる。			活動指標名(式)		(1) 文化財指定登録総件数 (2) 刊行物作成件数+文化財標示板等の作成修理件数								
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○文化財調査を進め、①必要と認めたものを登録文化財とし、重要なものを指定文化財として保存、②刊行物や案内標示板等を媒体として、情報を提供、③区内団体などと協働し、文化財の公開や文化財保護思想の普及を図る。 ○埋蔵文化財の適切な保護・保存を図り、活用に資する発掘調査を実施する。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 文化財保護ボランティア登録者数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 区共催事業の参加人数 算定式・指標の説明等 文化財ウィークの史跡散歩及び杉並区郷土芸能大会								
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)					
指標	活動指標(1)	①	件	131	133	133	136	135	139	97.1	99.3				
	活動指標(2)	②	件	9	13	11	10	10	10	100.0	100.0				
	成果指標(1)	③	人	32	32	32	45	50	50	100.0	111.1				
	成果指標(2)	④	人	604.0	360.0	361.0	370.0	445.0	380.0	117.1	120.3				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	8,509	13,477	11,699	12,428	12,027	11,925	21年度予算執行率%		96.8			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	43	100	74	100	418	458	特記事項 ・8月1日任期付常勤学芸員採用					
	(内)委託費	⑦	千円	4,461	5,143	4,828	5,073	4,928	4,949						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	3.07 4.10	3.00 4.00	3.00 4.00	3.00 4.00	4.43 3.00	4.00 3.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	28,060	27,150	27,150	26,637	39,334	35,516					
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	11,357	11,200	11,200	11,172	8,379	8,379					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	47,926	51,827	50,049	50,237	59,740	55,820						
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	365,519	388,925	375,752	368,654	439,422	398,288						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	⑭	千円	2,250	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500					
都からの補助金等		⑮	千円	/	750	750	750	750	750						
その他の補助金等		⑯	千円	/	0	0	0	0	0						
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	2,250	2,250	2,250	2,250	2,250	2,250						
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	45,676	49,577	47,799	47,987	57,490	53,570						
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 537

		内 容	規模	単位	事業費(千円)
21年度の事業実施状況	(1)主な取組み	指定登録候補等調査委託	5	件	600
	※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	指定登録文化財保護奨励金	111	件	1,718
		文化財案内標示板等作成・修理	6	件	1,248
		埋蔵文化財調査委託(他、窓口対応4,079件、埋蔵文化財調査138件)	10	件	3,001
		その他(審議会運営、ボランティア、刊行物ほか)			5,460
(2)事業実績	「史跡散歩地図」に新しい視点を導入したことによりメディアでも採りあげられ、区民のみならず、他部署からの配布依頼も多く、1割の増刷をして対応しました。文化財保護ボランティアの活動も狭義の文化財保護活動に留まらず、文化財への愛着を広める活動へとシフトし、実践活動への助走を始めました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	文化財シリーズは昭和45年の創刊から43冊を数え、案内標示板も153基と、文化財などに関する情報提供のための整備は順調に進んでいます。また区民の文化財に対する興味・関心の高まりと行政への区民参加の促進に伴い、文化財保護ボランティアの活動等も順調に進んでいます。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	地域の歴史や文化に対する興味・関心の高まりに伴い、当該事業への期待も高まっています。このため、新たな視点に立った文化財情報の提供や活用を求める要望がある一方、既存の文化財標示板等の更新を求める声もあります。			
	今後の予測	区民自らがこの分野に深く関心を抱き、参加するに従い、その要望はより深く、先鋭化して行くと考えられます。新しい時代にあった文化財保護・活用(情報提供)をはかるため、協働の力を借りて推進する部分と、行政に求められる正確性・専門性を担保して行くことが求められます。そのため、高い見識と専門性に裏打ちされた調査・研究をする仕組み作りが求められます。			
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容				
	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	文化財の調査・保護を進め、文化財保護思想を普及することで、区民の地域の歴史や文化に対する関心が深まり、区民の文化的向上に資するとともに郷土文化の振興と発展に貢献しています。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容→)	文化財保護ボランティアや、区内の郷土史会・郷土芸能保存会等との連携を進めることで、成果を伸ばすことが可能と考えられます。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	文化財が国民共有の財産であるため、区民全体が受益者であり、受益率の測定も困難です。また、文化財シリーズ等については、すでに有償頒布となっています。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	文化財の保存については、その所有者の負担によるものが大きく、これ以上そのコストを下げることは不可能です。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[事業協力]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
	評価と課題 文化財保護ボランティア活動の始動や、指定・登録文化財の選定・活用、「史跡散歩地図」編集への新視点の導入など、時代にあった新しい文化財保護活動へと移行を始めました。区民との協働事業であるボランティア活動の本格始動と、行政の責任分野を明確にした新時代の文化財保護制度の構築を軌道に載せることが今後の課題です。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減 コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 1、文化財の指定・登録については、前年に引き続き新しい視点で選定し、さらに活用についても考えていきます。2、文化財保護奨励金については、23年度へ向けて調査・検討しています。3、文化財保護の啓発等については23年度向けに調査検討しています。
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 2、文化財保護奨励金については、制度の中でより有効活用ができるよう23年度までに検討します。3、文化財保護の啓発等については、ボランティア制度の成長を踏まえつつ、より有効な文化財保護指導制度を23年度までに検討します。
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 2、文化財保護奨励金については、指定文化財と登録文化財の制度上の違い、登録文化財制度の特質と財源との関係の難しさが課題です。3、文化財保護の啓発等については、ボランティア制度の成長を踏まえつつ、より有効な文化財保護指導員制度を23年までに検討します。
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性 ○ 大幅増 ○ 増 ● 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし
	(2)理由 文化財保護行政については、急激な変化はむしろ好ましくなく、現状から一步一步着実に進めて行くことが望ましいため、予算的にも現状を維持しつつ、着実な文化財保護行政をすすめて行くことが重要です。